年頭の挨拶

議会議長　山本芳太郎

新春を心からお祝いし、お喜び申し上げます。一九七三年は福祉元年といわれ国民生活の向上を最大の目標としてスタートし、それなりに各種にわたる施策が実施され、いよいよ福祉国家としての兆しが見えつつある中で、石油危機、インフレ、物不足という厳しい経済状勢に直面し、切角の福祉施策も、名目的なものになり悪循環の感さえ深くするものであります。しかしこれ等の問題も、一口に政治が悪いと決めつければそれにつきると思いますが、よく考えて見れば国民にも大きな自覚と反省が問われるのではないかと思います。現在におけるお互いの生活環境は一体どうであろうか。殆んどの家庭には自家用車があり、電気製品は整備され、衣・食・住の面だって飛躍的な向上がなされていると思います。金さえ出せば無いものはなし。又金そのものも、貯蓄や生活の面から考えて見れば判断もつくのではないでしょうか。日本の高度経済成長により、国民生活は素晴しく進歩し、消費は美徳とさえいわれて来たのであります。人間の欲望には最限がないのであります。そこでいろいろな思惑から、買い占めをやる等。物価上昇の素因もつくっていることも事実だと思います。少しでも欲望を満たし、希望に添え得る様にもって行くのが政治の力でありましょう。しかしこれ等のことは我が国だけで解決がなされる問題でなく、物資の面でも、経済の場合でも、世界的な流れの中にあってのことである事を思う時、少し日本の国民も我がまま過ぎ勝手でないのかと思えるのであります。これからは石油危機のもたらす結果として、あらゆる面において一層深刻な事態に突入すると思います。ためにこんどは節約が美徳であるといわれ物を大切にし、冗費はさけることを、お互いが身につけ、実現しなければならない時代に入って来たわけであります、といっても戦中戦後のような、極度の耐乏生活とは違い、よりよい生活を図って行く中での観念的なものとして対処して行くことだと思います。この様な節約ムードの中にあって、私共議会の果す役割も益々大きく、責任も重いのでありますが、村民各位の格別なる御協力と、御支援を得ながら、村理事者と一体になりながら、村勢の発展に一層の微力を尽すことをお誓いし、所感の一端を述べ、年頭の御挨拶といたします。

『物を節約しよう』

公民館長　大岩修作

新年おめでとうございます。

村民の生涯教育の広場として本年も公民館をご活用下さるようお願い申上げます。

今年の村の実行目標に『物を節約しよう』と掲げて村民の皆様のご協力をお願いすることになりました。

最近の中近東戦争を契機にして、原油の輸入量は減らされる一方でこれからは今迄のように石油をエネルギー資源とした異常的経済発展は倒底覚つかなくなりました。私たちは資源を持たない国の悲哀をしみじみ感じさせられると共に、予想された『来たるべきものが来た』感を深くします。戦後の日本経済の急激の発展の中で、それ迄貧しかった私達が欧米なみに文化生活が出来るようになった迄はよかったが、私達の身辺は急に贅沢とか無駄につつまれてしまいました。一億の国民は節約の美徳を忘れたかの感があります。

ここで、私達は思い切って、贅沢を追放し物資を節約愛護する発想に転換する必要にせまられました。

『物を節約しよう』は単なる観念的掛声に惰することなく、村民一人一人の心の奥底まで浸み透った実践運動として、おし進めて頂きたいと念じています。

村民各位から数年前の生活様態まで一歩退いた気持でこの運動に取組んで頂きたいと思っています。

皆様のご健康とご多幸を祈り、年頭のご挨拶とします。

昭和四十九年度の村の指標として望ましい一矢

岩室村区長会会長　本間八十太郎

年の瀬の師走の三日、全村区長会が静閑荘にもたれた。

他町村に魁けして、健全財政のもとに鮮度の高い諸施策が、次々と展開されている横山村政の畑眠達識に一驚を喫している。

当日のスケージュールは盛沢山であったが筆頭に自治行政の責任者としての首長の基本的理念を要望したに対して、力強い抱負経論の開陳があり、その節、新年度の村のスローガンについて今真剣に模索中だが各位の意見を出してほしい。時に、昨今紙上で節約は美徳等のことを申しているがこうしたことにも関心があると。

次に日程によって、村の発展上全体に亘っての共通的の問題――地区モンロー でない問題――持ちよっての意見の交換に移った。その節、私の持ちよった問題としての一つは、たまたま村長さんと符節を合せたように節約は美徳の問題を提案した。提案の内包としてエネルギー危機――インフレ――生活物質不足等々の声がちまたに澎湃として起っている。この機会を逸せずに、こうしたことを村民運動として展開してほしい勿論上が声を大にしても住民の一人一人が之に呼応して自粛自戒せなければ画餅にきすることとなるが、特に戦時中の耐乏生活を知らない世代の若人たちや、台所担当の婦人層に強く呼びかける必要がある。

こうした具象化の一例として使い捨ての防止、すり切れるまで使えるもの、工夫修理なくして流行を追って全下に捨てしまう。消費者の手に入るまでには幾多の製造所を経、使命をはたして貰うべくこの世に出てくる。之を無造作にすてしまう為に必要以上のゴミがたまる。物がなくなる。金がなくなる。自明の真理。

道元禅師の教えの「半杓の水」「川下に綱を張って菜葉大根くづをすくいあげて食膳への雲水の行」「雑巾がけした水を前庭の植込みに与える心境」味得し実施にうつしたいものだ。

私の自転車は、四〇年来私を安全に乗せてくれて菜葉大根くづをすくいあげて食膳への雲水の行」「雑巾がけした水を前庭の植込みに与える心境」味得し実施にうつしたいものだ。

私の自転車は、四〇年来私を安全に乗せてくれて愛輪となり可愛ゆくて手ばなされない。包装紙チラシ一枚のウラ、空かん、鉄片ガラス、破片再生したいものだ。そんな再生工場もこの地にほしい。家庭にねている不用物資の交換等も、こうした私の要望も若人には〝夏の虫が氷を語る〟の古語のように一笑に付して反古にせられる懸念も覚悟しながらも強いて強調。

（四八、一二、五）

岩室駅からお知らせ

岩室駅が十二月一日から業務委託駅になりました。そのため、今まで勤めていた国鉄職員に代って、日本交通観光社の職員が今まで通りの営業をしております。

一、きっぷ、指定券、チッキ、小荷物の扱いは今までと同じです。

二、荷物関係

吉田から東柏崎までのものは十時、十六時の二回それ以外（東京方面、大阪方面、北海道方面等）は十時三十分、十四時三十分、十七時の三回。

いずれもトラック便で発送になります。

昭和四十八年度

一般会計補正予算可決される

総額五億八千五百万円に

去る十二月七日に、定例議会が開催され一般会計補正予算（第七号）が可決され、林道開設事業の中止などにより五〇〇万円の減については、歳入で村税六〇〇万円の増収、シーサイドラインにかかる村有地売却代二〇万円になりました。

補正された主なものとして、歳入歳出総額五億八千五百六一万四千円の増収、林道開設事業中止による県補助金一千三四〇万円の減、林道開設事業起債四〇〇万円の減等であり、歳出では村有地購入費一一四万円、老人医療費追加一〇〇万円、牧野工事費一八五万四千円、林道開設事業中止による工事費一千八四〇万円の減、村道改良工事費二〇〇万円、災害対策費五三万五千円、本間俊平顕彰記念館設計料他三一〇万円などがありました。

昭和48年度岩室村一般会計予算（昭和48年12月7日補正）

（歳　入）　単位　千円

区分	既定額	補正額	計
1. 村税	109,631	6,000	115,631
2. 自動車取得税交付金	4,485		4,485
3. 自動車重量譲与税交付金	3,200		3,200
4. 交通安全対策特別交付金	444		444
5. 地方交付税	229,102	1,773	230,875
6. 分担金及び交付金	13,206		13,206
7. 使用料及び手数料	2,645		2,645
8. 国庫支出金	34,795	632	35,427
9. 県支出金	67,113	△ 13,106	54,007
10. 財産収入	4,950	2,928	7,878
11. 寄付金	8,013	718	8,731
12. 繰越金	24,603		24,603
13. 諸収入	55,513	55	55,568
14. 村債	32,300	△ 4,000	28,300
歳入合計	590,000	△ 5,000	585,000

（歳　出）

区分	既定額	補正額	計
1. 議会費	14,386	566	14,952
2. 総務費	106,131	3,430	109,561
3. 民生費	90,919	1,815	92,734
4. 衛生費	28,148		28,148
5. 農林水産業費	92,937	△ 15,640	77,297
6. 商工費	24,308	55	24,363
7. 土木費	93,104	2,023	95,127
8. 消防費	31,767	1,015	32,782
9. 教育費	83,514	1,866	85,380
10. 災害復旧費	2		2
11. 公債費	23,652		23,652
12. 予備費	1,132	△ 130	1,002
歳出合計	590,000	△ 5,000	585,000

常勤特別職給与並びに議員報酬等が改正される

岩室村議会議員報酬及び費用弁償等に関する条例、岩室村常勤特別職に対する給与並びに旅費支給条例、岩室村教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例が一部改正され次のように改定されました。

	（現行）	（改定）
村長	一九五、〇〇〇円	二二〇、〇〇〇円
助役	一五五、〇〇〇円	一七五、〇〇〇円
収入役	一三五、〇〇〇円	一五三、〇〇〇円
教育長	一三〇、〇〇〇円	一四三、〇〇〇円
議長	四三、〇〇〇円	五〇、〇〇〇円
副議長	三八、〇〇〇円	四四、〇〇〇円
議員	三五、〇〇〇円	四一、〇〇〇円

先生の異動

十二月一日発令の教員の臨時異動で、和納小学校教務主任として三年七ケ月勤務され、御尽力いただきました佐野敏也先生が、白根市松橋小学校の教頭として御栄転されました。

長い間、ご苦労様でした。

飲酒運転スリップ事故をなくそう

＝冬の交通事故防止運動＝

冬の交通事故防止運動が十二月十一日から一月十日まで、県下一斉に行われています。

これから積雪や凍結で、道路が変化して、思わぬ事故になったり、年の始めのあわただしさや飲酒などにより、事故の多発が考えられます。

このため今回の運動は、冬型交通事故の防止と飲酒運転の防止を重点としております。

無事故で楽しい正月を過ごすために、一人一人が交通安全に心がけてください。

冬型交通事故の防止

スリップの不安は、歩行者にも車にも常につきまといます。〝いそがず〟〝あせらず〟をモットーにしてください。

とくに運転者は、スノータイヤ、チェーンの装着をはじめ、車の整備を十分にする一方、「冬期間のスピード一割ダウン」を心がけてください。

また、自転車、バイクの使用者は「悪天候時および夜間の使用は自粛」に協力ください。

飲酒運転の防止

「まあ、まあ、一ぱいぐらいいねかね」―という〝まあまあ酒〟が多くなってきます。

しかし、そういう結果が事故につながるわけです。運転者諸君！甘い考えは禁物ですぞ!!

たばこは村内で買いましょう